

良くしたい！
地域環境
くらし



日本共産党岡山市議会議員

菅原おさむ **通信**

こころ

2021年
2月議会
質問から

Vol.009

2021年5月2日

岡山市北区小山 109-1

電話 086-287-5371

重度介護の方の特別障害者手当

申請に、障害者手帳は不要です

重度の介護認定を受けている方で手当の申請を検討したいという方は、一度ご相談ください。



今年度、高松や足守エリアの文化財・施設の充実などに予算がつきました。

高松城址公園資料館リニューアル、歴史を仮想体験できる動画作成

吉備路周遊バス

旧木下藩木下権之助屋敷表門の保全改修

造山古墳群保存整備(千足古墳整備、造山古墳域内の私有地の取得) など

高松・足守の文化財 充実へ予算化

菅原おさむ議員は2月議会で、生活交通の充実、足守地域の文化財の保全と活用、重度介護の方の特別障害者手当制度の周知、米作と家族農業の支援、北斎場周辺住民の不安への対応などについて質問しました。

菅原議員が足守文庫の収蔵品の保全と活用について質問したのに対し、市教育委員会は展示物の保管と保全方法を検討中と答弁。各地の歴史・文化遺産の調査や展示保存館の整備を提案したのに対しては、調査は恒常的に行っている、展示・保管は所有者の意向が優先なので慎重な対応が必要と答えました。



造山古墳群の整備が進みます



生活交通への補助拡充

岡山市は、生活交通への補助の仕組みを、「赤字の9割を補てん」から「運行経費の8割を補助」に変えました。残り2割の大半は利用料でまかなえるので、地元負担は無くなるか軽くなります。

また、生活交通の導入を目標数にこだわらず積極的に拡大していく姿勢も示しました。

今回の補助拡充は、約34億円の地域振興基金を財源としています。菅原議員が、「基金がな

くなれば制度をやめるといふことがあつてはならない」と考えをただしたのに対し、市は「重要な施策なので、財源に関わらず必要な予算を確保し、継続していく」と答えました。

菅原議員は、「どこに住んでいても、安心して住み続けられる」ための地域の交通充実に引き続き取り組んでいきます。皆さんのご意見をお聞かせください。

新型コロナ 党申し入れで対策前進



- 高齢者施設の職員のPCR検査を定期化
- 飲食店のコロナ対策に5万円まで補助
- 陽性が1人出たらフロア全員を検査
- 全陽性者に変異株を検査 などが実現。

党市議団の申し入れが市を動かしています

選択的夫婦別姓に反対の陳情が不採択

岡山市議会に出された「選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する」陳情に対し、自民党系の3党派(うち3議員が退席)が採択を求めましたが、採択17、不採択23となり、採択をさせませんでした。法律で夫婦同姓を義務付ける国は日本だけで、歴史も浅く、明治の途中からです。姓を変える不利益は女性に集中しています。結婚時に同姓でも別姓でも選べる選択的夫婦別姓制度の導入を日本共産党は求めています。

弁護士と無料法律相談

要予約 毎月第1～第4月曜日夕方に法律相談を行っています。

TEL 803-1707 (市議団)



北区 田中のぞみ



北区 菅原おさむ



中区 林じゅん



東区 竹永みつえ



南区 東つよし